

7 被災者との交流・激励

警察は、被災県警察を中心に、震災発生以降全国から延べ約91万人の部隊を派遣し、様々な活動を行っています。その中では、被災者の方々と多くの交流があり、また、被災者の方々から激励を受けることも少なくありません。

被災者の方々からかけていただいた一言一言で、警察部隊は励まされ、使命感を強めました。

いただいた激励に応え、被災地の復旧・復興に貢献すべく、警察は今後も全力で活動していきます。



被災地の小学生との交流(宮城県石巻市)

事例

関東管区機動隊のある部隊は、平成23年6月から7月にかけて福島県に派遣され、双葉町など福島第一原子力発電所から10キロ圏内で捜索活動を行いました。

派遣期間中、部隊は福島第一原子力発電所から30キロ以上離れている宿泊地に宿泊し、毎日車両で捜索場所まで往復していましたが、現地の小学生たちは、部隊が通過する道路上で、朝夕、休日、そして雨の日は合羽を着て、真っ白な紙に大きな文字で「いつもありがとう」「ガンバレファイト」と書いた横断幕により、部隊に対して応援をしてくださいました。

その後、小学生から機動隊に対して、「福島のためにありがとうございました」「栃木県警の方々は、これからも災害派遣などあって大変だと思いますが、私たちはこれからもずっと応援しているので頑張ってください」などと書かれた手紙と写真が届けられました。

これに対して、機動隊員からは、励ましてもらったことへの感謝の気持ちを込めた色紙が送られました。

